

# 13日 土曜

## マタイ

13:18 ですから、種蒔きのたとえを聞きなさい。

13:19 御国のことばを聞いても悟らないと、悪い者が来て、その人の心に蒔かれたものを奪って行きます。道ばたに蒔かれるとは、このような人のことです。

13:20 また岩地に蒔かれるとは、みことばを聞くと、すぐに喜んで受け入れる人のことです。

13:21 しかし、自分のうちに根がないため、しばらくの間そうするだけで、みことばのために困難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまいます。

13:22 また、いばらの中に蒔かれるとは、みことばを聞くが、この世の心づかいと富の惑わしがみことばをふさぐため、実を結ばない人のことです。

13:23 ところが、良い地に蒔かれるとは、みことばを聞いてそれを悟る人のことで、その人はほんとうに実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結びます。」

13:24 イエスは、また別のたとえを彼らに示して言われた。「天の御国は、こういう人いたとえることができます。ある人が自分の畑に良い種を蒔いた。

13:25 ところが、人々の眠っている間に、彼の敵が来て麦の中に毒麦を蒔いて行った。

13:26 麦が芽生え、やがて実ったとき、毒麦も現われた。

13:27 それで、その家の主人のしもべたちが来て言った。『ご主人。畑には良い麦を蒔かれたのではありませんか。どうして毒麦が出



Bible Reference  
聖書の記述

たのでしょう。』

13:28 主人は言った。『敵のやったことです。』すると、しもべたちは言った。『では、私たちが行ってそれを抜き集めましょうか。』

13:29 だが、主人は言った。『いやいや。毒麦を抜き集めるうちに、麦もいっしょに抜き取るかもしれない。』

13:30 だから、収穫まで、両方とも育つままでおきなさい。収穫の時期になったら、私は刈る人たちに、まず、毒麦を集め、焼くために束にしなさい。麦のほうは、集めて私の倉に納めなさい、と言いましょう。』』

実を結ぶ者となりましょう。そのためには、みことばを聞いて悟らない今までいないようになります。踏み固められた道のように、礼拝が単なる習慣になってしまわないように。分らなかつたら、祈つて聖霊によって聞き、自分のこととして考えることです。またそのために、根をしつかりとはりましょう。みことばに根ざして行動し、また人生の基盤をみことばの価値観によって据えることです。さらにそのためには、惑わしになるものがあつたら、それを取り除けましょう。生活からもまた思いからも。

そして、「みことばを聞いて悟り」、多くの実を結びましょう。悟りたいという、謙遜で主に従順な思いの、「良い地」のような心であります。

次のたとえも大切です。「天の御国」に「毒麦」があるのは奇異に感じるかもしれません、これは死後にに行くところの天国ではありません。神の支配ということです。この世は神様が支配していますが、悪や神への反逆が横行しているのは、それも神の権威の中にあるのであって、神様は悪が明かになるまで、放置しておられるという側面もあるということです。

人間の好き放題、不信仰が続けられるからといって、神をあなどってはなりません。世の中もそうですが、もしも自分の心の中に毒麦のようなものがあると気づいているなら、それを取り除けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

